

# 「ちゅうバス利用者アンケート」の調査結果

## 1. 調査の概要

府中市内を運行するコミュニティバス「ちゅうバス」の各路線の利用者属性、利用実態（区間・時間帯）利用目的、普段の利用頻度などに加えて、現行の運行内容への評価、問題点・改善要望に対する意見などを把握するため、ちゅうバス利用者を対象としたアンケート調査を実施した。

調査概要

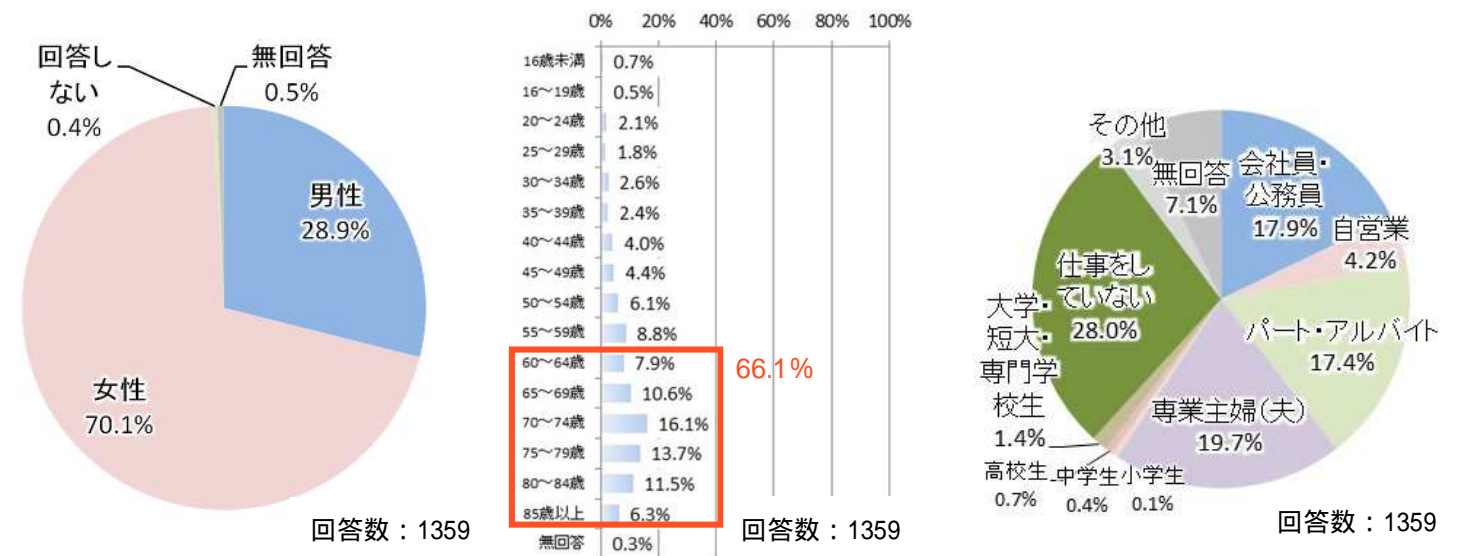
項目	概要
調査対象	ちゅうバス利用者
調査日	令和3年7月16日(金)
調査方法	調査員が「ちゅうバス」の全便に乗り込み、原則、すべての利用者にアンケート調査票を配布し、郵送にて回収を行った。
調査内容	・回答者の属性 ・調査日の利用状況 ・日頃のちゅうバス利用状況 ・ちゅうバスに対する評価 ・ちゅうバス以外の交通手段
配布・回収	・配布数:3,054枚 ・回収数:1,359票 ・有効回収率:44.5%

回収率（ルート別）

	配布数	回収数	回収率
多磨町ルート	464	204	44.0%
押立町・朝日町循環 (朝日町ルート)	445	185	41.6%
押立町・朝日町循環 (押立町ルート)	523	259	49.5%
是政循環	451	191	42.4%
南町・四谷循環 (よつや苑西ルート)	577	280	48.5%
南町・四谷循環 (四谷六丁目ルート)	283	91	32.2%
北山町循環	311	149	47.9%
合計	3,054	1,359	44.5%

## 2. 回答者の属性について

性別は、「女性」が70.1%(953人)、「男性」が28.9%(393人)である。  
 ○回答者の年代は、60代以上が多く、全体の2/3を占めている。一方、若年層からの回答は少ない。  
 回答者の居住地は、市内が約9割である。  
 ○就業・就学では、「仕事をしていない」が28.0%(380人)と最も高く、次いで「専業主婦(夫)」が19.7%(268人)と続いている。  
 通勤・通学先は、市内が約5割、隣接市が約1割である。  
 ○無理なく歩ける時間では、「15分以上」が約8割を占めている。



【図1】 回答者の性別

【図2】 回答者の年齢

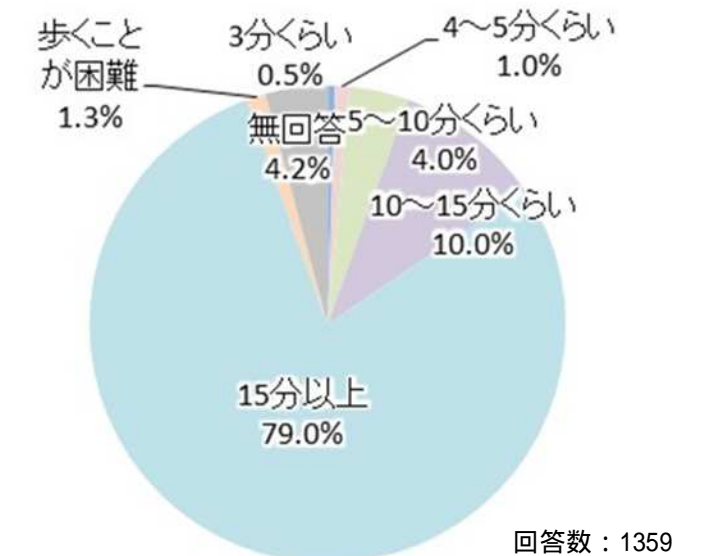
【図3】 回答者の就業・就学状況

【表1】 回答者の居住地

	回答数	割合
市内	1,251	92.1%
隣接市	39	2.9%
その他	61	4.5%
無回答	8	0.6%
計	1,359	100.0%

【表2】 回答者の通勤・通学先

	回答数	割合
市内	287	50.8%
隣接市	60	10.6%
その他	159	28.1%
無回答	59	10.4%
計	565	100.0%

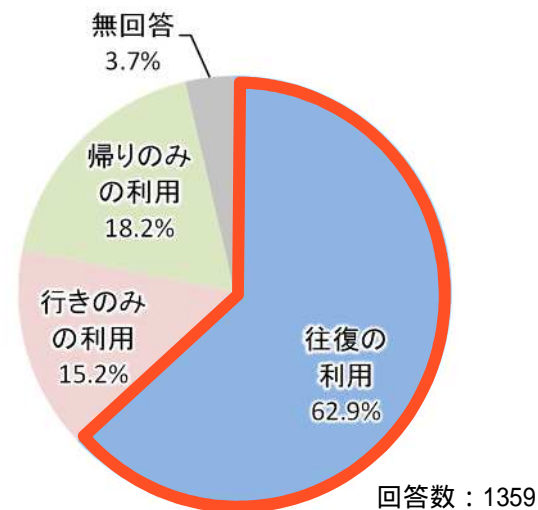


【図4】 回答者の歩行可能時間

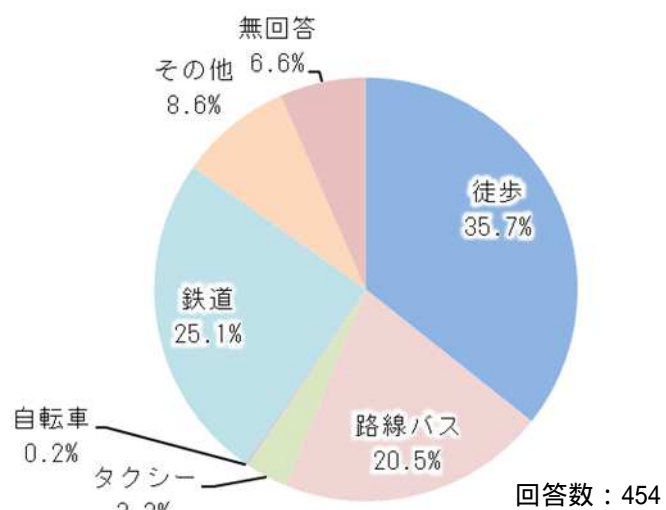
「会社員・公務員」「自営業」「パート・アルバイト」「高校生」「大学・短大・専門学校生」のみを集計

### 3. 調査日の利用状況について

ちゅうバスを往復利用する人が約6割、行きまたは帰りのみの利用はそれぞれ2割弱である。行きまたは帰りの交通手段は、徒歩(35.7%)、鉄道(25.1%)、路線バス(20.5%)が多い。行きの利用時間帯は、「8時台~10時台」が多い。帰りの利用時間帯は、「16時台~17時台」が多い。



【図5】 利用形態



【図6】 行き帰りのみの交通手段  
「行きのみの利用」「帰りのみの利用」と回答した人が対象



【図7】 利用時間帯

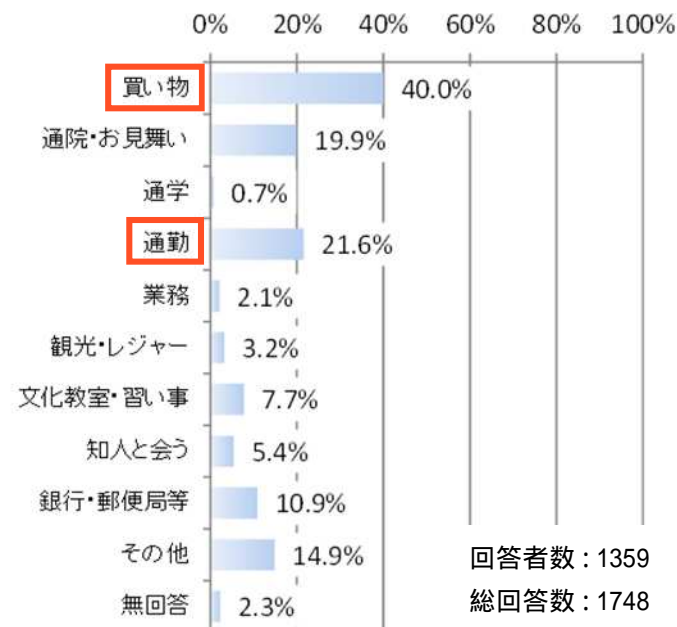
【表3】 利用時間帯

行き	回答数	割合	帰り	回答数	割合
8時台	173	12.7%	8時台	3	0.2%
9時台	231	17.0%	9時台	14	1.0%
10時台	185	13.6%	10時台	37	2.7%
11時台	114	8.4%	11時台	101	7.4%
12時台	85	6.3%	12時台	109	8.0%
13時台	74	5.4%	13時台	108	7.9%
14時台	79	5.8%	14時台	112	8.2%
15時台	41	3.0%	15時台	118	8.7%
16時台	25	1.8%	16時台	146	10.7%
17時台	17	1.3%	17時台	141	10.4%
18時台	1	0.1%	18時台	104	7.7%
19時台	1	0.1%	19時台	63	4.6%
20時台	0	0.0%	20時台	0	0.0%
その他	15	1.1%	その他	0	0.0%
無回答	318	23.4%	無回答	303	22.3%
合計	1359	100.0%	合計	1359	100.0%

調査日の利用目的では、「買い物」が40.0%(543人)と最も高く、次いで「通勤」が21.6%(293人)と続いている。

目的地は、「府中駅」および府中駅周辺の「ミッテン」「ル・シーニュ」が多い。次いで、「多摩総合医療センター」や「市役所」が多い。

乗り継ぐ交通手段としては、鉄道(京王線)が最も多く、26.5%となっている。一方、「乗り継いでいない」が約6割を占めている。

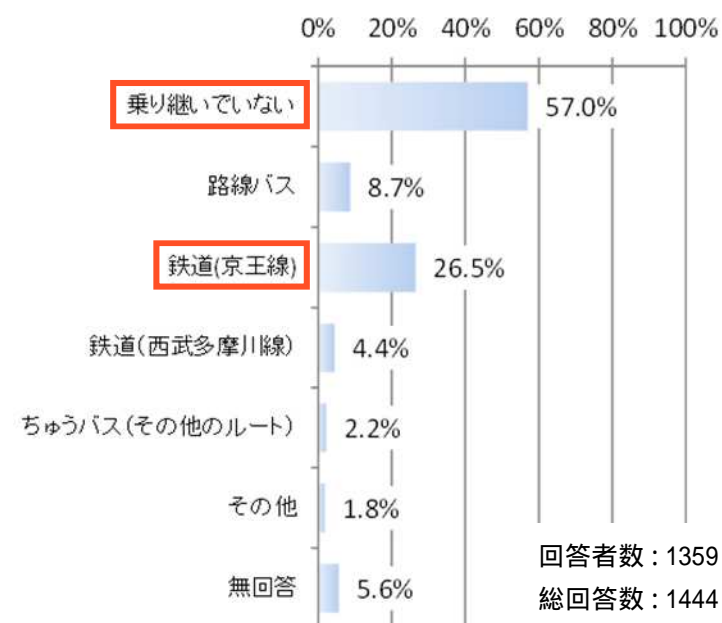


【図8】 調査日の利用目的

【表4】 目的地(上位)

目的地	施設概要	回答数
ミッテン	商業施設	33
府中駅	鉄道駅	25
ル・シーニュ	商業施設	22
多摩総合医療センター	医療施設	12
フォーリス	商業施設	11
市役所	公共施設	10
生涯学習センター	公共施設	10
榊原記念病院	医療施設	10
ライフ中河原店	商業施設	8
中河原駅	鉄道駅	7

「自宅」や「職場」「病院」など場所を特定できないものを除く

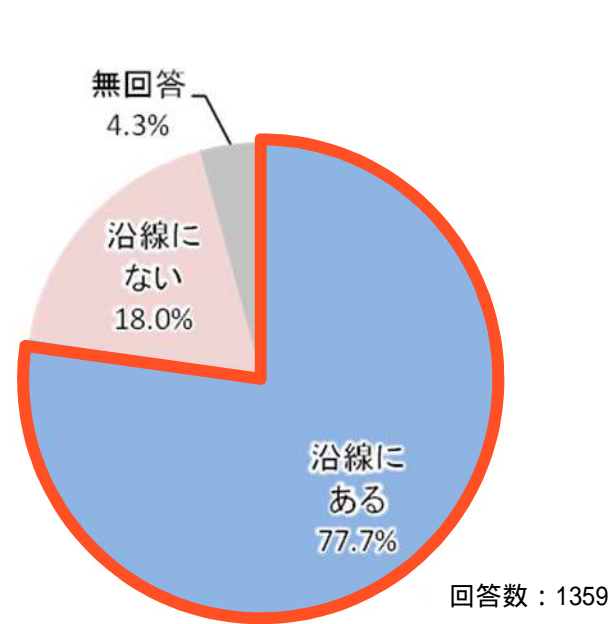


【図9】 乗り継ぎ状況

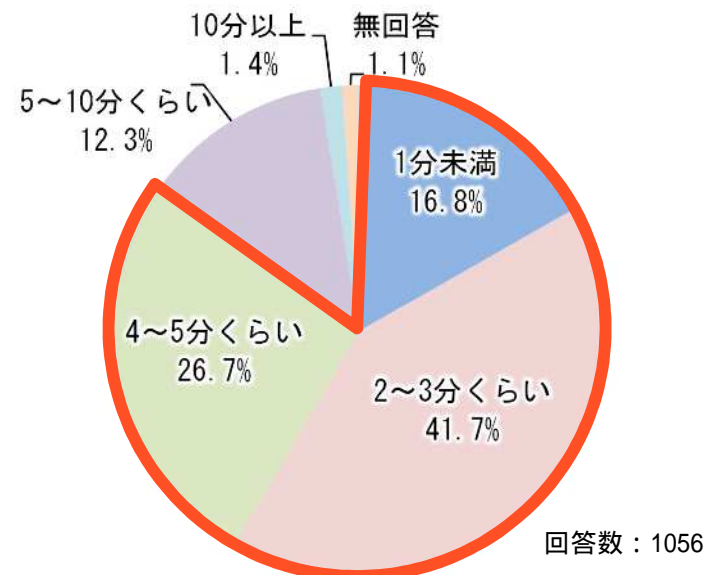
## 4. 日頃のちゅうバス利用状況について

自宅がちゅうバスルート沿線にあるかについては、「沿線にある」が77.7%(1056人)であった。自宅からちゅうバスバス停までの徒歩での所要時間は、「5分以下」が約85%であった。ちゅうバスの利用頻度は、「週に1回以上」が約7割であった。ちゅうバスを利用する目的では、「買い物」が27.3%(371人)と最も高く、次いで「通勤」が18.8%(255人)と続いている。ちゅうバスを利用する理由では、「雨や暑い日などの悪天候でも出かけられる」が48.5%(659人)と最も高く、次いで「路線バスよりも運賃が安い」が39.1%(531人)と続いている。

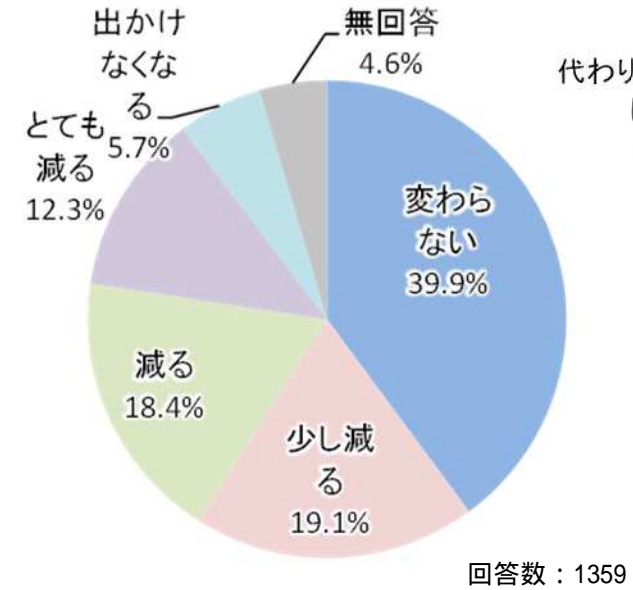
ちゅうバスのルートがない場合の外出頻度は、約半数が「外出頻度が減る(少し減る・減る・とても減る)」と回答している。一方、「変わらない」が約4割であった。ちゅうバスがない場合に多く使いそうな交通手段は、鉄道(26.0%)、徒歩(20.0%)、路線バス(15.5%)が多い。



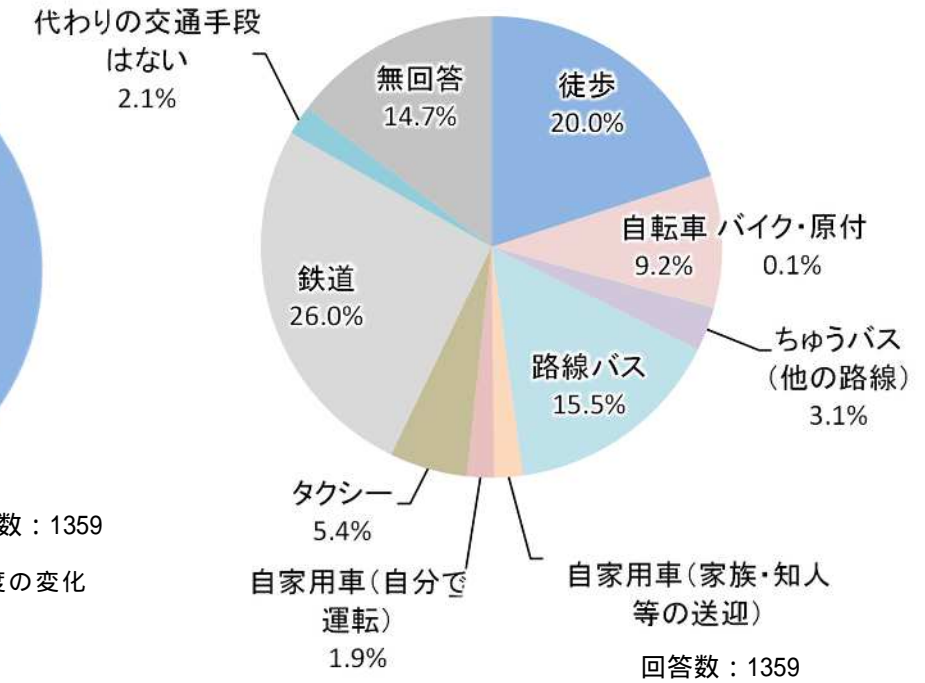
【図10】 自宅がルート沿線にあるか



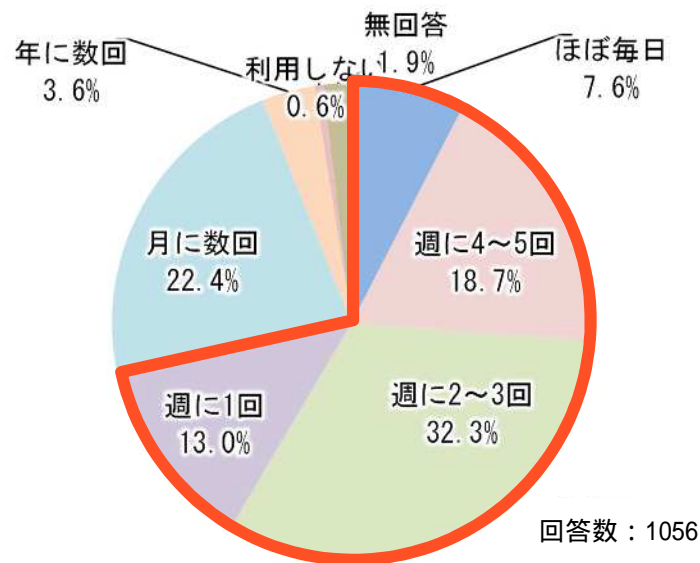
【図11】 自宅から「ちゅうバス」バス停までの徒歩での所要時間



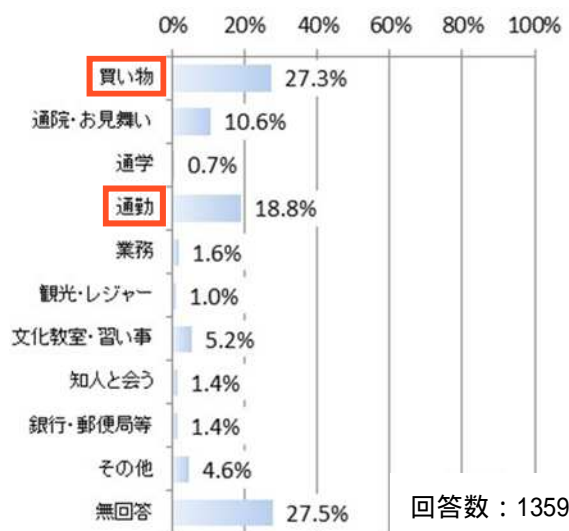
【図15】 ちゅうバスがない場合の外出頻度の変化



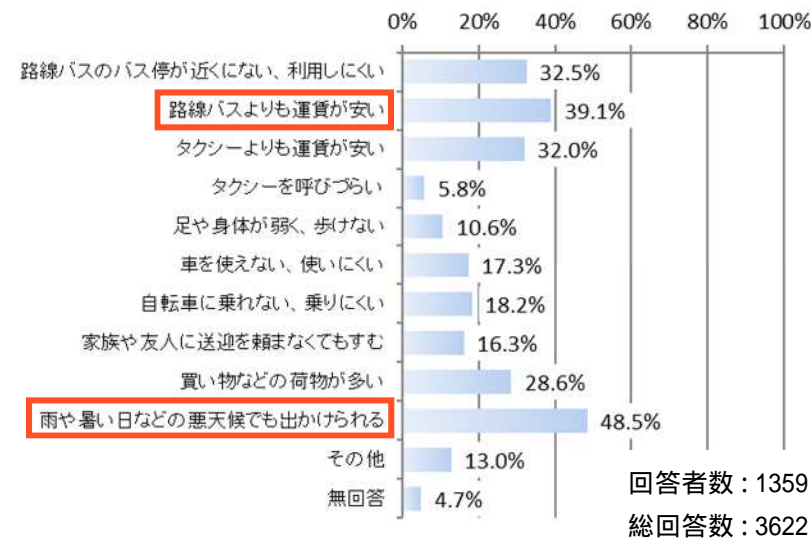
【図16】 ちゅうバスがない場合に1番多く使いそうな交通手段



【図12】 利用頻度



【図13】 日頃の利用目的



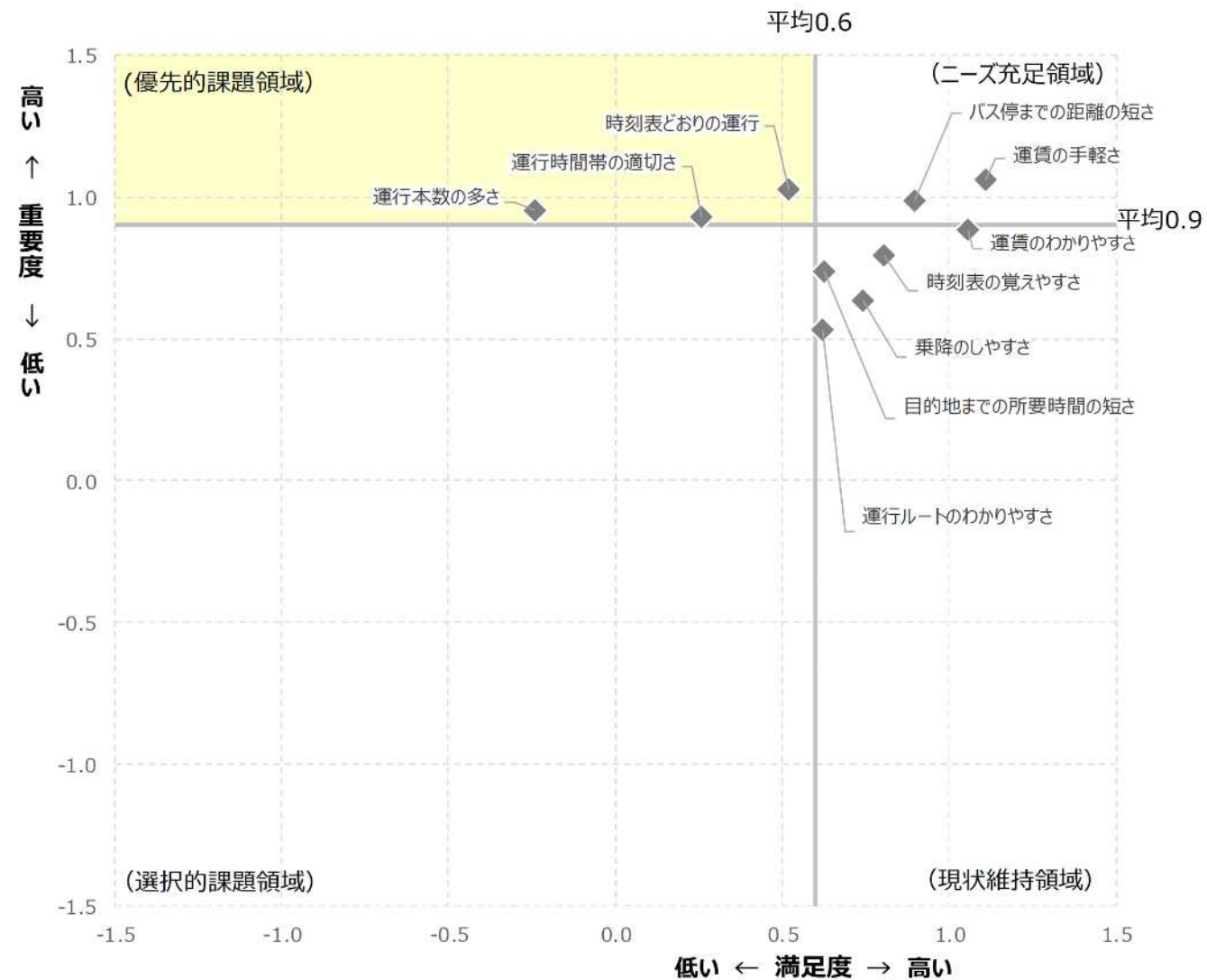
【図14】 利用理由

## 5. ちゅうバスに対する評価

重要度が高く、満足度が低い項目は、「運行本数の多さ」「運行時間帯の適切さ」「時刻表通りの運行」である。

重要度が高く、満足度が高い項目は、「バス停までの距離の短さ」「運賃の手軽さ」である。

また、重要度が低いものの満足度が高い項目は、「運賃のわかりやすさ」「時刻表の覚えやすさ」「乗降のしやすさ」「目的地までの所要時間の短さ」「運行ルートがわかりやすさ」である。



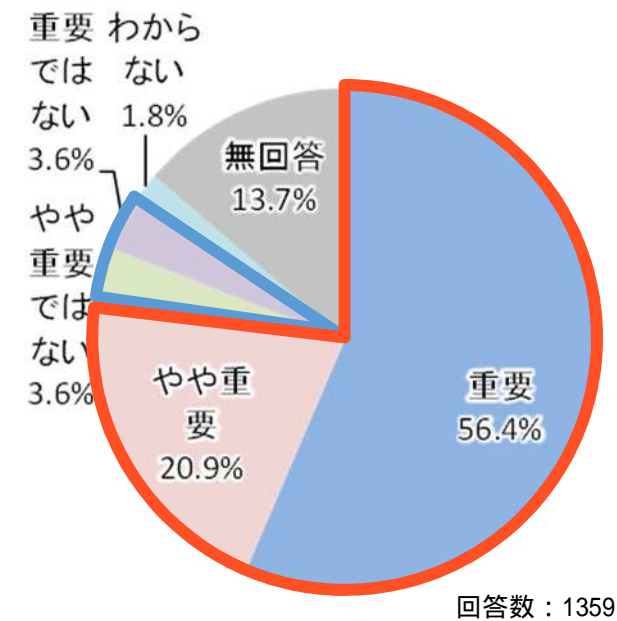
【図 17】 ちゅうバスのサービスに対する重要度と満足度

### < ちゅうバスの不満点 (主な意見) >

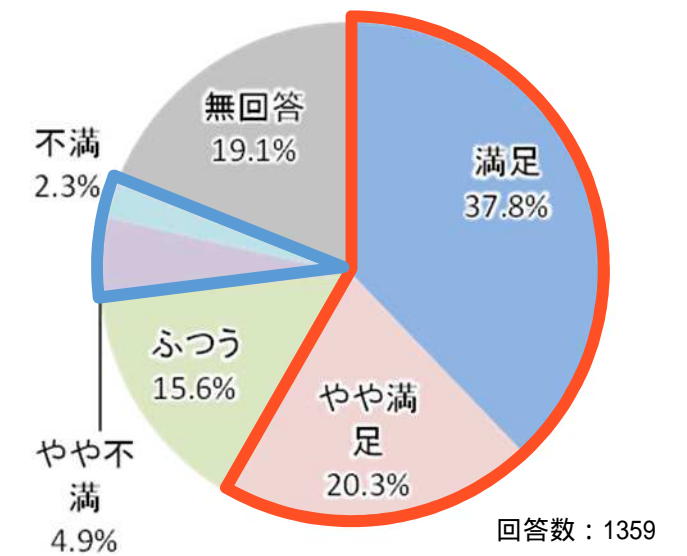
- ・ 運行本数を増やしてほしい。
- ・ 通勤で利用しているので、最終便が早すぎる。せめて 20 時まで運行してほしい。
- ・ 時間帯によって混雑している事がある。
- ・ 時刻表より 10 ~ 15 分くらい遅れる時がある。普通に 5 ~ 10 分くらいは遅れる。特に府中駅行が遅れる。
- ・ ルートがわかりづらく、はじめて乗るとき不安を感じる。
- ・ 目的地まで行くのに時間がかかる。運行ルートがくねくね曲がりすぎている。
- ・ シルバーパスが使用できない。

府中駅周辺へのアクセスは、「重要 (重要・やや重要)」が 77.3% であり、「満足 (満足・やや満足)」が 58.1% である。

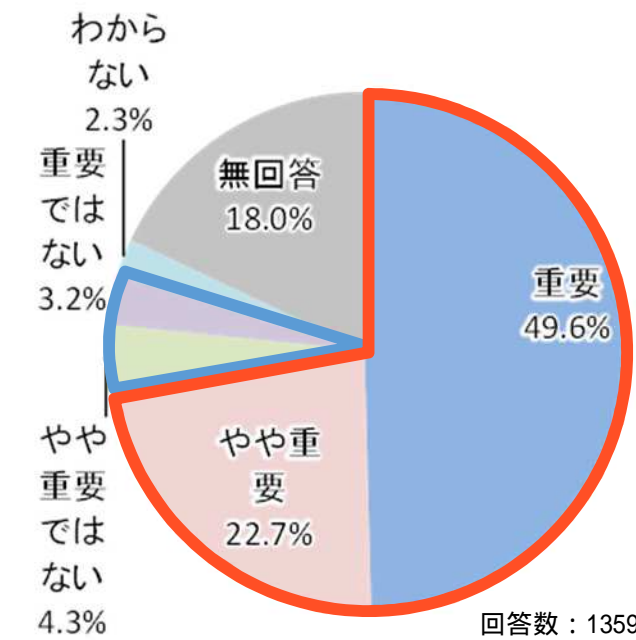
生活圏内での移動しやすさは、「重要 (重要・やや重要)」が 72.3% であり、「満足 (満足・やや満足)」が 49.5% である。



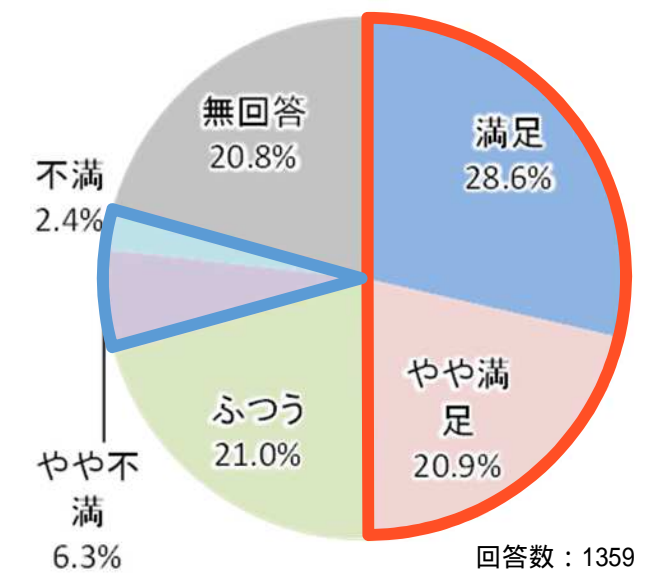
【図 18】 【重要度】府中駅周辺へのアクセス



【図 19】 【満足度】府中駅周辺へのアクセス



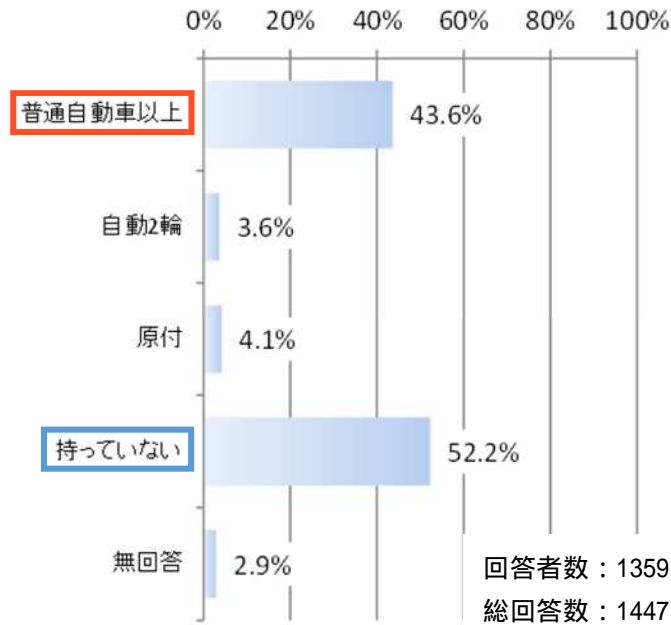
【図 20】 【重要度】生活圏内での移動しやすさ



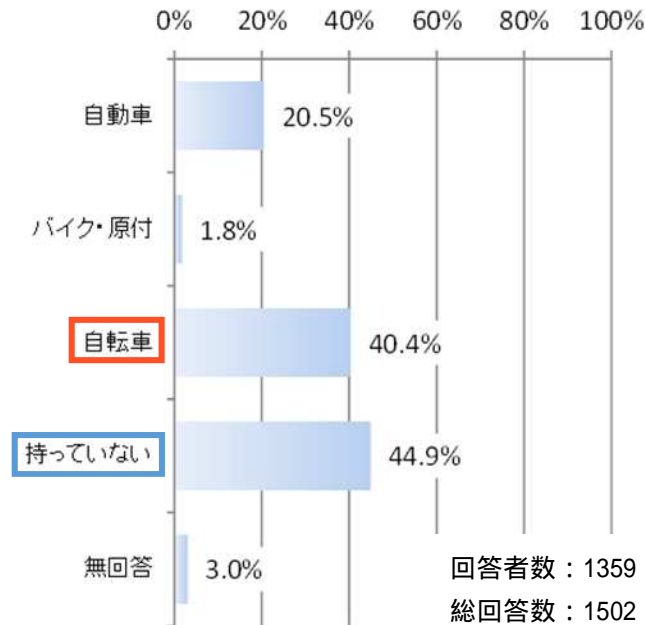
【図 21】 【満足度】生活圏内での移動しやすさ

## 6. ちゅうバス以外の交通手段

免許の所有状況では、「持っていない」が 52.2%(710 人)と最も高く、次いで「普通自動車以上」が 43.6%(593 人)と続いている。  
 所有している交通手段は、自転車が 40.4%、自動車が 20.5%と多い。一方、「持っていない」が 44.9%と多い。

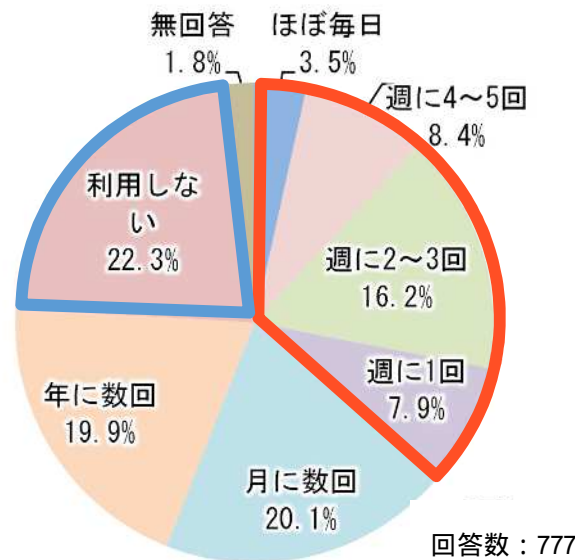


【図 22】 免許の所有状況

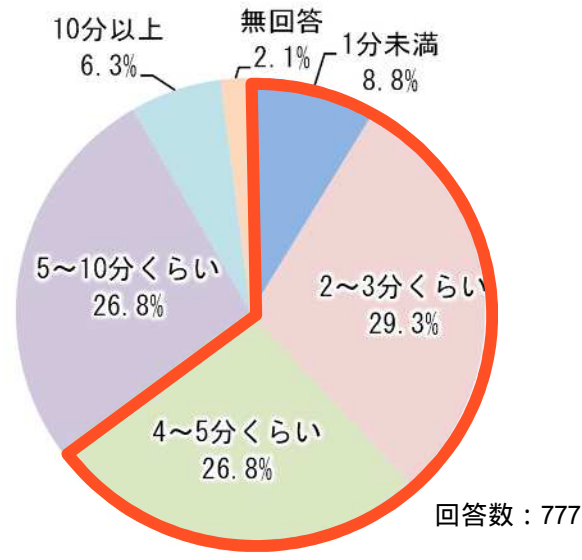


【図 23】 所有している交通手段

路線バスのバス停の利用頻度では、「週に 1 回以上」が 36.0%であり、「利用しない」が 22.3%である。  
 路線バスのバス停までの徒歩での所要時間は、「5 分未満」が約 64%である。

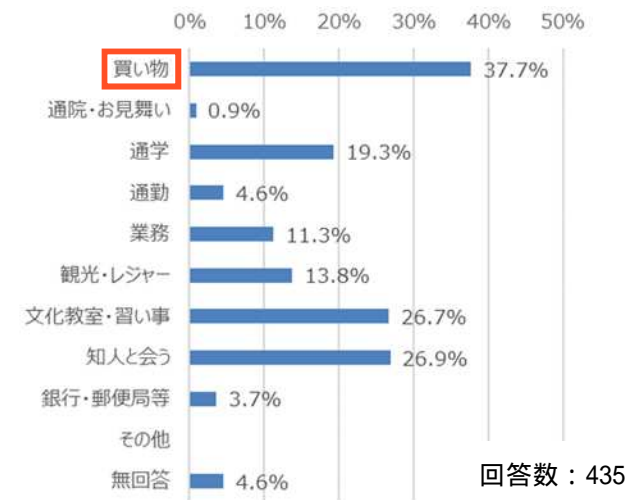


【図 24】 自宅近くのバス停の利用頻度



【図 25】 路線バスのバス停までの徒歩での所要時間

外出目的では、「買い物」が 37.7%(164 人)と最も高く、次いで「知人と会う」が 26.9%(117 人)と続いている。  
 外出先は、府中駅(101 人)、武蔵小金井駅(21 人)、聖蹟桜ヶ丘駅(20 人)が多い。  
 路線バスのバス停を利用しない理由では、「運行本数が少ないため」が 27.1%(89 人)と最も高く、次いで「目的地の近くを路線バスが運行していないため」が 21.3%(70 人)と続いている。



【図 26】 路線バス利用の外出目的

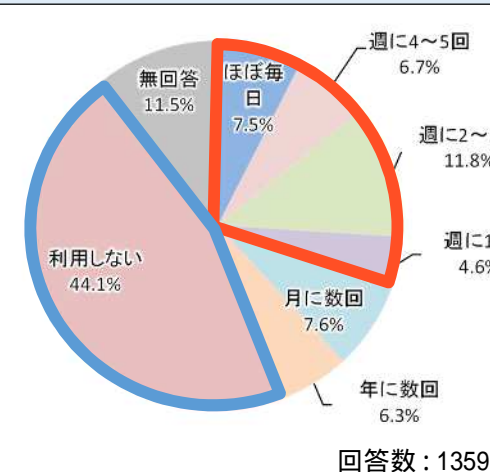
【表 5】 路線バス利用の目的地(上位 5 つ)

目的地	回答数	割合
府中駅	101	53.2%
武蔵小金井駅	21	11.1%
聖蹟桜ヶ丘駅	20	10.5%
調布駅	18	9.5%
中河原駅	18	9.5%
分倍河原駅	12	6.3%

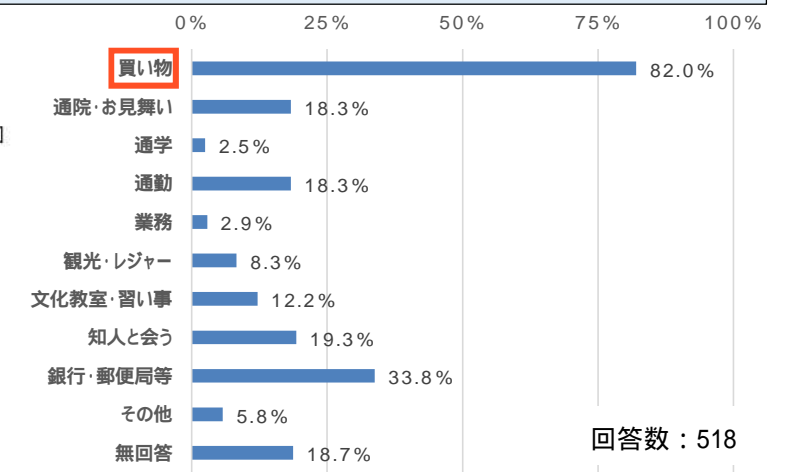


【図 27】 路線バスのバス停を利用しない理由

自転車の利用状況は、「利用しない」が 44.1%(599 人)と最も高い。週に 1 回以上利用する人は 30.6%(415 人)である。  
 自転車利用における外出目的では、「買い物」が 82.0%(425 人)と最も高く、次いで「銀行・郵便局等」が 33.8%(175 人)と続いている。



【図 28】 自転車の利用



【図 29】 自転車での外出目的